

事業シート (概要説明書)

担当課名	教育総務課	予算事業名	外国語青年招致事業			
担当室名	学校教育室	シート作成責任者	岩田、宍戸			
事業開始年度	北条地区：H8.7月～ 大栄地区：H4.7月～	根拠法令	北栄町招致外国青年就業規則			
実施方法	■直接実施					
	□業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： ）					
	□補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）					
	□貸付（貸付先： ）□その他（ ）					
事業概要	目的 (何のために)	グローバル化が進む中、子どもたちが外国の様子や文化などを感じ取るとともに、コミュニケーション能力を身に付けることを目的とする				
	対象 (誰・何を対象に)	小・中学校児童生徒、保育所・こども園園児、教職員、町民				
	事業内容 (手段、手法など)	<p>○現在、町に外国語指導助手（以下「ALT」という。）2名（北条中学校：イギリス国籍の女性、大栄中学校：ニュージーランド国籍の男性）を配置している。原則単年度契約で、更新（5年を限度）する。</p> <p>○ALTの勤務は、週35時間。 中学校勤務3日、小学校勤務1日、教育委員会・保育所・こども園勤務0.5日。 上記の他に週に1回公民館で夜間の英会話教室（自主運営）を担当。</p>				
	事業の必要性 (町が実施しなければならない理由)	町では、町づくりビジョンに「子どもがすくすく育つ環境づくり」を掲げ、推進する中で、グローバル社会に対応できる子どもを目指し、さらには北栄町教育ビジョンで外国語教育の推進を示している。そのためには、生きた英語に直接触れる活動を行うことが重要と考えALTを招致している。				
コスト	平成25年度		人件費			
	事業費	7,824 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費	330 千円		担当正職員 6,600千円/人	330 千円	0.1 人
	総計	8,154 千円		臨時職員他 1,800千円/人	0 千円	人
事業費 (財源内訳・単位千円)	年度	総額 (人件費含まず)	実施方法が補助金の場合、 事業費の負担割合		財源内訳	
					特定財源	一般財源
	H22(決算)	8,729				8,729
	H23(決算)	8,315				8,315
	H24(決算)	8,678				8,678

事業シート (概要説明書)

担当課名	教育総務課	予算事業名	外国語青年招致事業		
担当室名	学校教育室	シート作成責任者	岩田、宍戸		
平成25年度 事業費内訳	賃金 (ALT) 7,040千円 (280千円×4ヶ月×2人、300千円×8ヶ月×2人) 旅費 40千円 (普通旅費) 保険料 70千円 (JET損害保険) 負担金 144千円 (自治体国際化協会負担金) 補助金 530千円 (住宅家賃、通勤手当補助)				
平成25年度 事業目標	○中学校…英語科の授業において教師とチームティーチングをすることによって、英語によるコミュニケーション能力 (話す・聞く・書く・読む) の育成を図る。 ○保育所・こども園、小学校…子どもたちがALTから話を聞いて外国の文化等を知ることや、担任とALTが英語を使って、英語に慣れ親しむ活動を展開することによって、子どもたちは世界の国々に興味関心を持つようになるとともに、英語によるコミュニケーションの素地を養う。				
過去3年度の 事業実績	活動指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度
	中学校での英語科におけるALT活用回数 (1クラスあたり/週)	回	1	1	1
	小学校での外国語活動におけるALT活用回数	日	週1	週1	週1
	こども園・保育所での英語に触れる活動		北条幼稚園	北条幼稚園	北条こども園・田良こども園・大誠こども園
過去事業の 自己評価	○中学校においては、ALTとの会話、英作文、音読活動等を通して、英語によるコミュニケーションへの意欲が高まった。また、英語弁論大会の際には、ALTが発音やイントネーション、表現を指導した。 ○小学校・こども園等においては、英語に触れる活動を行うことにより、ALTの目や表情を見ながら集中して聞くようになり、自分からALTに積極的に話すようになってきた。また、外国の地図、国旗など外国のことに興味を持つようになった。 ○外国語活動や英語科の時間だけでなく、給食・休憩時間、行事等学校生活の中でALTと触れ合うことにより、言語や文化について体感的に理解が深まり、コミュニケーションを図ろうとする態度が育ってきた。				
来年度以降の 予定・目標	中学校英語科 (英語教師とALTとのチームティーチング) 小学校5・6年生外国語活動 (担任とALTとのチームティーチング) 保育所・こども園・小学校1～4年の外国語活動 (英語に触れる活動)				
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)	○東伯郡内4町 (三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町) は、各中学校区に1名ずつ、倉吉市は市に2名のALTを配置しており、中学校の英語科、小学校の外国語活動の指導補助にあたっている。				
特記事項 (事業の沿革等)	文部科学省は、2020年をめぐりに、小学校の外国語活動の開始時期を現行の5年生から3年生に引き下げ、5年生からは教科にする方針を決めたとの報道があった。				